



門 木 2
號 1214
卷 5



詞捷徑下卷

字音假字

古書と讀人^{ヨマ}人^{モト}字音^{モト}假字^{カナ}の用格^{ヨク}と了^{ヨク}知^チば有^アべからば字音^{モト}假字^{カナ}の言^{コト}用^{ヨク}おくして字^{モト}用^{ヨク}ある事^{コト}多^シけまはる。今^{イマ}の字音^{モト}假字^{カナ}用格^{ヨク}依^ヨて字音^{モト}の假字^{カナ}かぎ^カて抄^{シヨウ}録^{ロク}せり。それ論^ロ辨^ベの本^ホ書^{ショ}小^コゆづ^ズて舉^トげらばづら^ラい^イと^トい^イと^トい^イはる。圍^イ中^{チウ}小^コい^イ或^ニい^イぬ^ニと^ト志^シる^ルせる^ス其^{ソノ}類^{ルイ}字^ジと^ト舉^トげらる^ル目^メ標^{ヒョウ}ふ^フ。その假字^{カナ}小^コ用^{ヨク}ふ^フこれ^{コノ}の^ノ字^ジこ^ノも^モ假字^{カナ}小^コ用^{ヨク}ふ^フこれ^{コノ}の^ノ字^ジと^トよ^ヨく^クど^ドして^シ辨^ベへ^ヘ知^チる^ルべ^ベし。

源重胤著
岩波
記

源春夫校



○ここがのちのちの字音假字

下二

酒井氏
善書

○同書小いく各音ノ下ニ圍中ニ書スルハ其下ニ舉ル諸字ノ韻ナリ。但シ平聲ノ韻ヲ標シテ上聲去聲ノ字ヲモ其下ニ攝ス云云。是四聲ノ差別ハ假字ツカヒニ用ナキ故ナリ。

○同書小いく假字ノ紛凡、事ナキ音ノ字ハ舉ルナシ。又紛凡、モ悉クハ舉ガタケシバタゞ日用ノ近キ字ノミヲ出ス。餘ハ同韻ノ例ヲ以テモ推テ知ベシ。又大氏ハ同傍ナドノレイニテモタガハズ。飴怡貽同ジク。惟惟唯同ジキガ如シ。

○同書小いく漢ト云ハ漢音。吳ト云ハ吳音ナリ。

○同書小いく清音濁音ハ一ツニ雜ヘテ舉グ。假字ニ紛ナケシバナリ。假字ノ紛凡、濁音ノ字ハ別ニ卷末ニ出セリ。

いぬ之假字

い 伊以異怡易已移夷肄以上九字古書ニ假字ニ用タリ 貽飴詒倚猗姨頤圮

彝醫矣意懿以上二十二字漢吳トモニ 衣依宸以上三字吳ハエ

為 爲韋位威謂渭偉委萎尉以上十字古書ニ假字ニ用ヒタリ 惟維唯惟遺遼

患洧鮪違圍闐慰良胃彙緯葦

いう 尤郵幽憂優由油柚游遊猶猷攸悠酉自誘有宥囿又友

右祐皆漢ナリ吳ハう或ハい也之○幼字モい音ナルベケレドモ常ニえト呼フ

いち 同 東雄熊融彤以上漢ナリ吳ハい也カうナルベシ雄ハ常ニ吳ハうト呼フ之

鐘用勇邕以上吳ナリ漢ハいも 遇裕此字ハいもノ音ナシトモ常ニいもト引テ呼フ

此音いヲ省テゆう任書ベシゆい即い也ナレバい

○ことばのちつちつち字音假字

いゆ ゆ同 尤由油柚游遊猶猷攸悠酉誘 以上吳ナリ漢ハいゝと

虞愈逾喻瘡瘕史裕

いふ 入聲 緝邑挹揖熠

いやう やう同 陽陽揚揚場瘍羊洋佯痒養樣恙央

清影瓔永 以上三字ハ吳ニ漢ハえい

いよう よう同 鍾用甬勇俑踊容蓉庸雍擁邕癰 以上漢ナリ吳ハい也

蒸膺鷹蠅孕媵

いむ 真因姻茵氤寅湮裡印引蚓胤 欣殷慇隱 以上三字漢ニ吳ハおむ

侵音飲陞蔭 以上四字漢ニ吳ハおむ 淫姪

おむ 諄尹允勻筠 真韻殞隕 仙員院

いく 屋育昱郁或澳燠

いつ 質乙一壹逸佚溢侑迄 於乞反漢ナリ吳ハおつ。質ノ韻ニ属スルトキハ於筆ノ

反吳モいつと

おつ 術聿鷓

おと 職域域閼洫

いや カラ いやく ズ いや 又 いやく イヨ 是ヲノ音ハ凡テいノ假字ナリ おラ書ベ

○えゑ之假字

え 哀埃愛 以上三字吳ナ 衣依 此二字モ吳ニ漢ハいナリ 延要曳敝 以上九字古書

ニえノ假字ニ用タリ

○こごのちうごち字音假字

惠 吳ナリ 隈 漢ハケイ 穢 二字吳ナリ 回 會繪准 四字吳ナリ 衛 以上
古書ニ用タリ 假 慧 吳ナリ 壞 漢ハケイ 迴 二字吳ナリ 畫 吳ナリ 漢 ハケイ 又 漢ハ
 ○附鳥

宵 遙搖謠瑤姚陶要腰曜耀夫歺妖 蕭 么竊杳 肴

幼 此字吳ノ 尤 幼

葉 聲入 葉 葉麗曆曆燁

霽 翳 祭 曳洩裔泄銳睿叡 清 英靈嬰纓癭盈楹羸瀛

羸 影郢映榮營瑩永詠泳穎穎 英以下廿一字漢ナリ

祭 衛 古書ニ用タリ 假

先 煙咽宴燕讌醮 阮 堰偃 鹽 鹽炎琰奄淹簷檐閻弁

厭 厭 靨 靨 豔 豔 艷 艷 仙 延筵演焉衍羨沿鉛鳶捐娟緣掾充

元 袁遠轅猿園爰援媛浚宛苑怨婉鴛垣冤 以上漢ナリ

先 洲 仙 瑗媛圓

月 謁 屑 噎咽 薛 悅閱

月 越粵曰鉞 薛 噦

昔 益亦奕易場液掖繹驛懌斃役疫 ミナ漢ナリ

○おを之假字 附わ

於 淤飲意憶億隱礮乙應 以上十字古書ニ

袁 遠怨烏乎呼鳴鳩弘越曰惋迴 以上十三字古書ニ 汗 惡

證 應 吳ナリ 侯 謳謳鷗甌歐 以上漢ナリ

○こごのちつちつち字音假字 下四

をう

東翁甕瓮雄

登泓

遇姬

あう

豪奥襖媪

唐鴛盞

陽央殃鞅

以上三字吳之

耕櫻罌

鶯鸚罌

以上五字漢之

こう

陽王往枉旺

唐汪尪皇凰黃

庚橫

皇以下四字吳之

耕泓

あふ

入聲

狎狎

吳ナリ

鴨押壓

合凹

おむ

痕恩

欣殷愨礫隱

以上四字吳之

侵音陰飲

三字吳之

をむ

魂温溫穩

元袁遠園怨苑苑

以上六字吳之

おく

職憶臆億

以上吳之

をく

屋屋

おつ

迄乙

吳ナリ

をつ

没頤膺

月越

此字吳之

○か行之假字

きう

尤九鳩仇久灸咎枢臼舅舊求裘毬救究韭丘蚪糾糺糗

庖休朽牛

以上漢之

東弓躬窮宮

以上四字漢之

こふ

入聲

緝急及汲吸笈給泣翁歛

かう

豪高蒿稿鎬嵩豪膏毫告浩誥皓傲傲齧羔鯨阜翹棹

好尻考號耗昊顚杲叢

唐岡綱剛鋼康糠糠尤抗吮吮航昂

陽仰仰向香鄉強

以上六字吳之

庚庚坑行衡更梗鯁硬亨杏

羹

以上十一字漢之

耕幸倅耕耿鏗莖

以上六字漢之

肴肴殺

○こごのちつこちつ字音假字

膠交交絞效咬郊効狡校校孝教巧樂以上十七字漢 **江江**

杠杠杠項講巷港降絳肛以上十一字漢 **清迎**此字宜京ノ反ニテ漢ゲ

い呉びやうナレト佛書ニ來迎 **東公蚣空控孔工功紅攻虹貢鴻洪閔**以上十四漢 **侯口**

扣叮吼后垢苟鉤後寇厚侯候喉猴溝構篝 **登恒姮肯肱薨弘**以上十九字漢

后後ナドハ **蒸興**此字吳ノ漢ハさよ **江江杠**

常ニゴト呼 **扛肛肛項講巷降絳閔**以上十二字吳

くこ **唐光晃恍廣曠墮荒盲皇惶惶蝗蝗皇皇黃簧**皇以てハ字吳ハ

庚橫漢ナリ **舩礦** **耕宏閔轟嶸**

かふ入聲 **合合蛤閤** **洽洽恰恰夾峽** **盍盍闔** **狎甲匣狎**ハ狎

吳ハあハナリ

こふ入聲 **業業劫怯**以上吳ノ漢ハけふ

さやう **陽薑姜彊疆羌強維印仰香享向鄉嚮響響**以上十六字漢ナリ

呉ハ **匡筐狂誑況况** **庚行杏更梗**以上四字吳 **耕莖耿**

以上二字具 **清京卿敬驚慶輕頸景竟境鏡競傾頃兄**以上十五

之漢ハかう **青經形刑**以上三字吳ノ漢ハけいナリ

さよう **鍾共拱拱恭恭恐蚤邛凶匈胷兇龔顛**以上十四字漢

蒸興矜兢凝以上四字漢

けう **肴肴穀膠交交絞效咬郊効狡校校孝教巧樂**以上十七字

漢ハ **宵喬驕矯矯橋** **蕭堯曉曉皎叫竅徹梟翹澆**

○ここののらうらうらう字音假字 下六

けふ入聲

帖叶協夾俠頰莢狹愜

業挾

業業劫怯脅以上四字漢之

こふ入聲

○さ行之假字

さう

尤周秋愁嗽秀州洲酬囚酋適收鄒搜蒐臭袖岫醜讎舟

羞繡獸脩修首受授皴就酒手守狩聚驟以上漢ナリ 柔蹂ハ志也又モ

漢ナリ
吳ハ小也

さう

東衆終充嵩蝨

以上漢之 戎漢ナリ

鍾從縱漢ハ志

吳音おのナレハ常ニ志
ゆゝト引テ呼故ニ出ス

虞主趨戌

さふ入聲

緝十什汁拾入習褶褶執集緝緝葺輯澀濕隰襲

さう

豪早草阜造慥曹槽漕遭臬操藻燥譟蚤搔騷嫂艘竈棗

掃

唐倉蒼滄臧藏桑穎茨莽鏘象像

以上陽ノ韻ノ字漢吳

アリ漢さう吳志やうナルモノアリ又漢志やう吳さうナ
ルモノアリ是ヲ韻鏡ニ考ルニ第二等ノ字ハ漢さう吳志
やう第三等ノ字ハ漢吳共ニ志やう第四等ノ字ハ漢志や
う吳さうノ大氏如此然レハ其反切又餘ノ牙喉半舌齒等
ノ音ノ字ノ例ニ依ルトキハ右ノ如キ差別
十ク凡テ漢志やう吳さうナルベキナリ
志やう
耕爭爭爭以上四字漢之
耜稍稍鞘爪抓抄鈔巢漢之

鏖

以上九字漢之

江雙双淙聰窻

以上五字漢之

そう

東息憇總聰聰送菱梭梭般叢崇

以上十二字漢之

反ニテ志やうナレハ常ニ
そうト呼フ故ニ此ニ出ス

冬宗綜宋

以上三字漢ナリ

侯走叟趣奏輦湊簇藪漱嗽

以上十字漢之

登曾僧增贈憎

繒層

江雙双淙聰窻

以上五字漢之

○ことばのらうらう字音假字

下七

さふ入聲

合雜颯巾

洽巾挿

盍巾

狎翼

さやう

陽章樟障彰昌唱菖倡娼尚商常掌敞嘗賞裳將犛醬

漿牆詳祥庠翔匠餉傷觴殤上

以上常ニ漢

壯莊狀牀床裝

妝以上常ニ漢

清清情精請晴生性姓牲肯笙正政征鉦成

城誠盛淨靜井省聲聖

以上二十五字

青青晶星猩醒以上

吳ナリ漢ハ

さよう

鍾鐘鐘種腫衝樞誦松訟頌從縱蹤春蠢悚竦以上十

ナリ吳革此二字ハ穴ハ小也

蒸稱升昇證勝丞蒸拯承繩澠乘仍

せう

肴稍抄鈔鏖以上五字吳

漢ハさう

宵召昭照韶招邵詔沼紹

小少肖宵霄消蛸銷硝逍焦蕉樵醮笑椒釧燒堯饒繞擾下四

字ハ吳ハ絲

蕭蕭蕭嘯瀟

せふ入聲

葉妾接攝捷睫婕涉決燮葉附屑

先結ノ反

○た行之假字

ちう

尤宙抽紬胄丑紐肘紂耐籌儔疇晝稠惆糴以上十六字

漢ハ吳ハら

ちト呼フベキ例ナリ但シ惆糴二字ハ吳ハ小也ナルヘシ

ちゆう

東中仲冲仲忠蟲衷

鍾重

此字吳ナリ漢ハらう

虞柱拄注

註駐住株誅蛛廚躡以上鍾韻虞韻ノ者実ハちやナレドモ常ニちやト引テ呼フ故ニ此ニ出ス

侯頭偷

二字漢ハちやト呼ヒ頭モ塔頭饅頭ノトキ然リ

ちふ入聲

緝螫繫

たう

豪稻蹈滔韜刀叨挑逃到倒道導濤禱陶萄討嶋悼盜獠

○ことばのらうらう字音假字

下八

糸 有鏡 漢ナリ 宵鏡 漢ナリ 蕭尿溺 漢ナリ

糸 帖捻 漢ハナリ 虞乳 漢ハナリ

小 尤柔 漢ハナリ 小 緝入 漢ハナリ

小 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

糸 糸 漢ハナリ 糸 糸 漢ハナリ

○ことばのらうらうら字音假字

下十

ほふ入聲 乏二字吳之乏ノ平聲凡字去聲梵字凡ニ吳ハ 乏音ノ音之是其入聲モ吳リハナレ證之法

字モ法華其外モ不ト呼フ例オホキ之

ひやう 清平評丙病並并瓶屏兵以上九字吳之漢ハハナリ

ひよう 蒸冰憑

へう 有豹吳ナリ漢ハハナリ 宵表儀慄慄標標飄飄庶庶鏢鏢苗廟眇

苗以下三字 尤ハ吳ハハナリ 尤ニ字突ハ漢ビウ吳ハナレ漢ベウ 尤ト轉ジ呼ブサテ同韻ノ幼ヲえウト

呼フニ准リ假字ハハナリ 定メツ吳めウナルベシ

○ま行之假字

まう 豪毛耄冒帽 唐茫忙莽漉 陽亡妄忘望罔網輞

庚盲孟猛以上十九字漢ハ皆ウ之庚韻ノ者ハ吳ハナリ

もう 東蒙朦朦以上三字吳ハ漢ハハナリ

みやう 清明名命鳴 青眞以上五字吳ハ漢ハハナリ

庚猛吳ハ

めう 肴貌吳ナリ漢ハハナリ 宵苗猫廟妙以上四字吳ハ漢ハハナリ

○ら行之假字

らう 尤留溜留雷柳劉流梳以上八字漢ナリ吳ハハナリ 東隆實ハハナリ

ト書クコト色ウノ 音ノ下ニ云ゴトシ 鍾龍漢ハハナリ 鍾常ニ引テ呼ユエニ足ウノ假字

トスアウト書

ア入聲 緝立粒

らう 豪老牢勞潦醪 唐郎廊朗浪琅琅粮

○ことばのらうらうらう 字音假字

ろり

東籠瀧隴聾聾弄

漢ナリ吳ハる又ハハルナルベシ

鍾瓏隴

漢之実ハ

レビろりト呼ブ
吳ハハルナルベシ

侯婁樓樓樓鏗樓樓樓陋漏

以上十字漢ナリ吳ハる

又ハ
ろく

らふ

入聲

合拉

盍臘蠟

りやう

陽良兩亮梁梁量糧涼諒魎

清令冷領

以上三字吳ナリ漢ハ

青苓苓零靈

以上四字吳ハハル

りよう

鍾龍

漢ナリ吳ハハル

蒸菱陵凌綾

登楞稜

二字実ハろりナレドモ常ニ

りよう
ト呼フ

まう

宵燎療療

蕭了柳料寮僚僚鷯管蓼瘳

まふ

入聲

葉獵鬣

○濁音ぶぢぢ之假字

ぶ

自示次視辭慈事字兕寺侍時恃似姦。二貳耳餌珥兒爾尔

通而

ら

治持痔。尼膩爾。附除

此字除目ノトキぢノ音ニ呼フ又神名式ニモぢノ假字ニ用タル所

ア
リ 柱 琴ノ

ぶや

蛇虵邪閣謝麝若

ぢや

ぢぢ

ぶや

樹壽受授就頌驚聚娶豎需儒孺濡。附入

ぶよ

序敘徐舒助鋤恕絮如汝茹茹

ぢよ

除杼篠絮。女

ぶむ

神深甚尋腎盡燼迅訊。人仁又忍伋壬任妊社絰荏

○ここののらうらう字音假字

下十二

ぢむ 陣沈塵

ぢむむ 淳惇諄醇鶉准隼準盾循楯閏潤順馴旬巡純遵

ぢめむ

ぢく 孰肉

ぢく 竺軸舳舻

ぢやく 寂鶻雀若弱

ぢやく 著

ぢやく 粥熟塾

ぢやく

ぢよく 辱蓐褥

ぢよく 濁

ぢつ 實日駟相

ぢつ 帙相眡暱

ぢめつ 述術秫戍恤

ぢめつ 朮怵

ぢさ 食飾植

ぢさ 直

ぢぢ 豆頭圖途徒杜

ぢぢめ 階隨髓瑞蘂 法わ

○韻、いゝ之假字

い たいえいらいけいさいせいさいたいいふい録いそい
るいまいめいらいまいさいいそいそい

右ノ諸音ノ下凡テ皆いノ假字之

ゐ ぐゐすゐはゐゆゐるゐらゐ

右ノ諸音ハ支脂微等ノ韻ノ拗音ニノ彼いノ假字ヲカク
音 下ニいヲ書音ハ皆 齊灰佳清青等ノ韻ニ トハ其類異之必ゐヲ書ベキ之

○ことばのらうらう字音假字

まばたきもく今用ふる俗言は方先入ムチとありて古に歌文と
 ときいづめいづうらねも何やよる事はを多らぬるこめ
 故に古今集遠鏡小本つぎがざ抄ゆい抄雅語譯解ふど
 と始め何くれの中よて歌文小用ふべき詞は太氏オホカタと採とて
 その譯ウツレこれりも折衷してらざるてさて中昔の書ども小
 字音ふるを雅言はさまおはたらうせて用ふる一種りてそ
 いかさふさしもえうふけま略さつまゝ雅俗共よ古今い
 とくさい舉アテばさばうで際限ふと雅言とがざと有る此冊子
 小つくすべくも有録ば簡約とむ録とせまど類推して知ら
 ることばと多ららんりし。

阿之部

あ い ま ま	アノハレヤレ オモヒマハセバ	アノ マリ	あ い ま ま	アキニ アルモハ	あ い ま ま	アラヤレ オハテ
	マビロカラ カネテ	アツ チ	あ い ま ま	イザワルウ メイヨニ	あ い ま ま	ウハキ ラシイ
あ い ま ま	アキレタ コトヂヤ	フレギニ メツ ナゼニヤラ タニ	あ い ま ま	ウハスベリ ノスル	あ い ま ま	ウマミ カナイ
あ い ま ま	アキレタ コトヂヤ	ガレル シヤレル	あ い ま ま	ソバエル ホタテ	あ い ま ま	ウマミ カナイ
あ い ま ま	ムヤクナ チモナイ	シヤル ウハスベリ	あ い ま ま	イタウラ ラシイ	あ い ま ま	ウマミ カナイ
あ い ま ま	ムヤクナ チモナイ	ウハスベリ ノスル	あ い ま ま	ソバエル ホタテ	あ い ま ま	ウマミ カナイ
あ い ま ま	ムヤクナ チモナイ	ウハスベリ ノスル	あ い ま ま	イタウラ ラシイ	あ い ま ま	ウマミ カナイ

○ことばのちのち

阿伊雅語

久之部

くづむ

老クツスル
キヲクサラサス

くづい

イヤレメ
サゲシム

くまふ

スミカラスミマデ
ノガサズマイサイナ

ロせ

ニガクシイ

ザン
ネンチ

くさつ

ドナラガドウトモイヒニクイ
モテアマシタコトヂヤ

くさ

ナリニクイ

くさ

トリマシ

クサツ

くさ

間ノアイサウ

くさ

くさ

くさ

ロウ

クチテシ
カウ

位

座セキガ
ヒクイ

祁之部

げ

ナルホド
イカサマ

けお

オサレテ
ミエル

けさ

ヤウス
ケブ
ラヒ

けさ

ケブラヒラミテトリ
ス井リヤウスル

けや

キハダツテ
甚ダシイ

けぢ

ワカ
チ

けさ

ケブラヒラヒラシラセ
キモチヲミセル

け

云云ヨリスグ
レテ甚シイ

けさ

ハツキリ
サツハリ

古之部

くら

コレホドオホク
コノイカイコト

こ

こい急
これハ緩

こ

コレガカノ
云々カ

の

コレガカノ
云々ギマ

こ

同俗

こ

ソレノ
井サイ

こ

あ

トテモカウナル
ホドナラ

あ

ツモリヨリモ
ギヤウサンニ

あ

ソコ
コハ

あ

カクベツナ各
段ノチガヒヤ

あ

大ボコナ
大ヤウナ

あ

ヤカマシイ
クダクシイ

あ

ナダメル
スカス

あ

キヲモム
セイツカス

あ

リンキ
ナコト

あ

アソコヤ
コヤ

あ

言傳

あ

キラタテル
用心スル

あ

アソコヤ
コヤ

あ

言傳

あ

キラタテル
用心スル

あ

アソコヤ
コヤ

あ

言傳

あ

キラタテル
用心スル

あ

アソコヤ
コヤ

あ

言傳

あ

キラタテル
用心スル

あ

アソコヤ
コヤ

あ

言傳

あ

キラタテル
用心スル

あ

アソコヤ
コヤ

あ

言傳

あ

キラタテル
用心スル

○この部のらうらう

古佐雅語

下十九

あ

アソコヤ
コヤ

あ

言傳

あ

キラタテル
用心スル

あ

アソコヤ
コヤ

あ

言傳

あ

キラタテル
用心スル

あ

アソコヤ
コヤ

あ

言傳

あ

キラタテル
用心スル

あ

アソコヤ
コヤ

あ

言傳

あ

キラタテル
用心スル

ワレト
一シヨニ
なにか
何ノタレ
ワタクシ
うさ
準
ふう
縁家
ア
ちかむ
コホル

爾之部

小く
スカ
似げ
不相
小ひ
ヨイ
少び
ハナヤカ
愛ラ
ハナヤカ

にぐむ
ウルサ
小ふ
無類
ふもせ
二ハモセバシト
少び
ハナヤカ

奴之部

ぬま
ムジ
ぬう
平伏
ぬま
ナン
ぬる
ナマヌク

禰之部

糸
ギヤ
糸
ツラ
糸
ニクガル
糸
勞慰

能之部

能
ヤカマシウイヒタテル
仰山ニシタテル
能
シヅ
能
シヅカ
シヅカ

みぎ
ノガレルカ
タガナイ
野もせ
ノモセバシ
トハイニ
み
物賭
み
ホドス

波之部

もや
モウ
ハヤ
も
イヨクコリヤ
タビハ又
も
ホカス
ホオル
ヤリワハナ
も
ホドス

ワヅ
カ
ハナヤカナ
クワイケイナ
そ
ラチモナイ
ナニゲナウチヨト
フツカ
フツガフナ
不相應ナ
そ
遠慮
スル

そ
そ
そ
フツモナイ
オモヒガケナイ
ツキホガナイ
そ
シツカリト
シテ井ル
そ
スル

云
アゲク
シゴヒ
アツハレナ
そ
ワルイ
そ
テアライ
テヅヨイ
そ
キガ
オケル

云
リマス
云
マシ
そ
イツカ
先年
フノ
以前
そ
オケル

○ここバのちつちつ
波比布雅語

まろ	トリツクコフ	まろ	男自称此方	まばゆ	カバユイ位ニ結構ナフ
ハツカシイ	トリマカナフ	まろ	女自称ハコチヤ	まろ	カバユイ位ニ結構ナフ
ウルサイ	まろ	まろ	御着用スル衣服	まろ	ハナデカゼ
まろ	引コト	まろ	云々	まろ	ムホ
まろ	イヒタナ	まろ	グレ井	まろ	ウナ
まろ	アアリ	まろ	ヤウハ	まろ	マキツク
まろ	ヤウハ	まろ	トホウニクレテ	まろ	シウワイテ井ル
まろ	タウワクスル	まろ	頼廢シテ	まろ	イヒカ、リテ
まろ	ラチモナイ	まろ	体ニナル	まろ	ヒカヌキ
又此日	日	又の	心ガムチヤニナル	又の	ヒカヌキ
まろ	ナホ	まろ	モテアツ	まろ	ヒカヌキ
まろ	サラ	まろ	ビモノ	まろ	ヒカヌキ

美之部

まろ	スツキリト	まろ	タレモク	まろ	ドレモク
まろ	トコモク	まろ	ドレモク	まろ	ドレモク
まろ	風雅ノ	まろ	風雅ノ	まろ	風雅ノ
まろ	ミチ	まろ	ミチ	まろ	ミチ
まろ	キ、オヨシ	まろ	キ、オヨシ	まろ	キ、オヨシ
まろ	ミテハ	まろ	ミテハ	まろ	ミテハ
まろ	イノチ	まろ	イノチ	まろ	イノチ
まろ	死ヌルマデ	まろ	死ヌルマデ	まろ	死ヌルマデ
まろ	涯	まろ	涯	まろ	涯
まろ	ミチノユキヤ	まろ	ミチノユキヤ	まろ	ミチノユキヤ
まろ	タリツイデ	まろ	タリツイデ	まろ	タリツイデ

武之部

まろ	手ニテス	まろ	手ニテス	まろ	手ニテス
まろ	クヒ上ル	まろ	クヒ上ル	まろ	クヒ上ル
まろ	ハラタツ	まろ	ハラタツ	まろ	ハラタツ
まろ	イリタム	まろ	イリタム	まろ	イリタム
まろ	ハエ	まろ	ハエ	まろ	ハエ
まろ	ハエ	まろ	ハエ	まろ	ハエ
まろ	テブ	まろ	テブ	まろ	テブ
まろ	オモヒ	まろ	オモヒ	まろ	オモヒ
まろ	オモヒ	まろ	オモヒ	まろ	オモヒ
まろ	オモヒ	まろ	オモヒ	まろ	オモヒ

賣之部

まろ	アキレル	まろ	アキレル	まろ	アキレル
まろ	イカシイ	まろ	イカシイ	まろ	イカシイ
まろ	ワイナ	まろ	ワイナ	まろ	ワイナ
まろ	目やす	まろ	目やす	まろ	目やす
まろ	ナニガナイ	まろ	ナニガナイ	まろ	ナニガナイ
まろ	ミグルシカラヌ	まろ	ミグルシカラヌ	まろ	ミグルシカラヌ
まろ	免でれ	まろ	免でれ	まろ	免でれ
まろ	ケワカウナ	まろ	ケワカウナ	まろ	ケワカウナ
まろ	ウツクシイ	まろ	ウツクシイ	まろ	ウツクシイ

○ことばのちりちり 武責母雅語 下廿六

袁之部

をう	俗同むうハ非ふマ オモシロイ スイタラウ	をち	ズツトカフ アツチ	をちこち	アチ コチ	をちり	アチ ノカ
をうまて	イツテモ セツク	をう	シツカリト シテ井ル	をう	大テイ可ナリニ 下小ナリニ アチリイカワ	をう	
をさふ	若輩 ラチアカヌ	をう	氣丈ナ キツトシテ男ラレイ	をらうへる	アトモド リスル	をう	
井ルスワ ツテ井ル	をこがま	アホウ ラレイ	をみめさて	をらうへる	カウテ	をこふ	
ワルヤレナ ス井	をがむ	オジギスル 拜礼スル	をきて	をこづる	ミチヲ カウテ	をこふ	
サシナ コシヤクナ	をうつひ	ヲトヒ 一昨日	をのく	をうつふ	オドク ルヒスル	をう	
キ出	をうびん	時節ガ不 都合ナ	をとこ	をう	小 男	をう	
ス					小 女		

發語

縣居大人ハ冠辭カウリコトといさき。鈴屋大人ハ枕辭マシヨコトといふ。小よきと
たきと。おきもかきもほきと。いふ名なりけり。こハ伴高
蹊ツギ。釋日本紀より見出テ。發語といふ方と用ひそめたるふ
んよれ。いり小といふよ上よおとむとれさく。下け句とれこ
ととぬるれむなり。今ハそれ説セツよりておふことばと
られたる。

○さてらうの志る。ざぬも。下わらうくる方とむねと。く
つ。ねらう。その發語オシコトよりくる辭コトとめんらいと難カタく。
うくる辭コトより發語オシコトともむむる事いとれやすきむなり。

○ことばのちつらら 發語

○古書は詞と傳へて、發語と受けたるいと多し。管墨發語い
 やさやしれくが、蒺藜の發語おのいふごとくてふどなり。始ふ
 留ハ管だくといふといふよりけ。後なるを蒺藜のといふ
 まといふまはけら。然るをすげたるといふいやす
 やしそかりふものといふにれいふまてよけつ。
 くとおのふといふまはげることなり。しふつさまを
 小うらふいふなる小より。又そけ所く小も出せり。古書は
 用おたる例ふしとてかさをらねむハ無下ムゲれ事ふるべし
 ○大うとい類とあつめて知るべくし。あふつぎもこよと
 あるし人逢ふも地名は逢坂山小もかよハしるべく

をれせり。然もども同じやまといふ語ふても、まづぬがら
 きて、あし引のよりつぐくまハ山名となり。まづまはせり
 つぐくまハ國名となり。ねどまはせり。いしるも多し。そい別
 てまはせり。

○多くいまづる言ひせしむせり。そいもが袖發語まはむく
 山句。玉くしる發語まはねし妹句。あどつげける。まさとまく
 とせるねむひなり。まはせり。いさねぐしるせる。活語とれよ
 し。やえてい。いやすれをねむし。せり。そいこは發語と
 活用せて用ひまめんとて乃まさがまなり。
 ○この發語より受る句と。何某とあるせる事多し。うハラの

語と小同ドうれバ何イカさまにつけても然るべき小のも然
 せ。たとへば玉タマざれの語發ハツよ。をうめ句クマまこと句クマまこと小簾
 おど受るが如し。おほ古書とらまた探糸タマ索めて記さん
 さいと多りるべうめとどさしもイハ暇ヒマおくてこそ小えもの
 らへ糸イトバ。おのが著カける語彙ゴの出ると待て志るべきお。こ
 きばりて小てハ事小用ふる小足タマハトとかもふ人もはるべ
 けとど深く心を用ひてその類タマひとれ考へおび悉く小知
 られおんものぞ。おろろろ小讀ヨてとだまに遺漏イとどがむ
 る事おられ。

阿之部

天	いさうこの たうしるや	天の香來山	いさうこの 天 <small>ウツ</small> りつぐ
相寢の濱	まつくさの	青垣山	たふづく たふはる
あさた	まされづ	あら山	真木おら
あさた	坂鳥の	秋	ほやもの
あさた	松原 <small>マツノハラ</small>	あや	つぎさるん うけまも うまはれ
あさた	いさのとり	東	とりがなく
あさた	天つ水	朝 <small>アサ</small> たち	とらじもの むらじもの
あさた	行鳥 <small>ウツトリ</small> の		

〇ことばのちりり

阿發語

下三十一

いりり	てる月の おまら月 とり火の	いりりあした	あけあしたの
あしぬき	小なごりの	あむ野	あむ野の
いえぢりま	御食むらふ つさも子よ	朝	ほむらひの いりりひく
あさむ野	くさむの	いさて小倉	小倉の
青葉の山	まづごりの	あふぐ	夕月夜 そこのご
いがきふ妹	かきなる	いさづの野べ	花ちらふ 花ざうり
飛鳥	とぶらうの	あぐ	妹がか
あし某	草うげの 真草かる 十早ふる さどる	いりて	あけあしたの
いんきと	あし鳥の	あぐしたと	くもり夜の
足柄小船	ゆつしま		

いとふ	あけあしたの	あしと	あけあしたの
いさ	山の井の くさむの 山川の	いし某	くさむの あし山 さうら菰
あらず	山は井の てる月の	あぢ	れさつら
いくとや	芥火の	いりげの駒	まぶづの
あけがう	くさむの		
伊之部			
五十鈴の宮	さくらのさくす つさの	いせ	神うせの さけつご
いふさの山	たふめて	いやさ	くすつた
いづも	八雲たつ 山のとふ	いのら	れまらる あつめ

〇この本のちつら

伊發語

下三十二

いと 角さつふ うげろひの りー引の
ちきとや りげとふ

いづ つま神 天つふ

磯 玉ひろふ ちきとや
あつさゆい ちきとや
いづたされ ちきとや

いやー むぐとふ 天地の
あくとふの 玉つづ

いとひ らぐとふ

いづ某 玉くーげ 天ぐもけ

いざふ くもあなひ

いる 妹う門 ちきとや
あつさゆい

いづは宮 神風の もととふ

いく 妹う家よ 玉とくろ

いとせ 妹が目ーばぬらちむむけ

いづつく妹 やさうとら

いつくす うまろつえ

いとせ 妹が目ーばぬらちむむけ

いづと川 れてるべ

いづと川 れてるべ

いづと川 れてるべ

いづと川 れてるべ

いづと川 れてるべ

いづと川 れてるべ

いとたえげ 青柳け

いやます 行水の

いさる さぶとらけ

いづご山 つたたち

いづは宮 八百丹よー

いも 打すもの さよづふ
あつたけ ねむ玉乃

○ことわざのちつとら 伊發語

いね 秋は田乃
いとず いと水
いよ まいご
いひとろ れすひ

宇之部

うあふぶー 一本すき
うあび かつそひく

うあつ鳥 ーあつ鳥
うあ根つくうともの

宇治 千早ぶる きのふれ
うち 玉さいる
衣手と

海 つつての
うまー まぐくーろ
まぐねの

うまく ねえこ鳥
うねび 玉だすき

うつ心 玉乃とれ
浦と いあびづま

うつくー 月草乃
うつる 月草の春花乃
うげろふれ

うき 天々もの 郊花の どりどもれ
うき島乃 かもどもれ

雲梯杜 ままうすむ
うづす わづあろ

うらや川 秋うーえ
うづ寶 目うやく

うら某 くるすにあつきね乃
ううづる 玉藻ふす

うすい 日あぐめり
うすー うすひれまろーろ

うさい 水あまは
うきふー せむ乃羽の
くま竹乃
竹の子れ

打えへ つり乃とれ
うきふー せむ乃羽の
くま竹乃
竹の子れ

於之部

大宮 ともさきの
おまは少女 ともそふ

おとふい 火べふす
おらいつとらち大ロと

大津	さきさき	おぢよ	玉くしげ
ねさ	つゆしもの あさしもの	おのいたのむ	大船の
おさしむる	かりこもれ すはれ神乃 梓弓とるうせ乃 るる神の	とまぬら あはれ 垣は 春花乃	玉はと乃
おと		おし乃こ	天うそふ
おけむさく	さふつお	帯	しろくの
おくの志く	天くもれ	ねりぬる	あま雲は
ねく	玉くしげ	おさうは山	青ささ乃
息長川	おちとら	ねのいさぶじ	ふらなるれ
れもろげ	まのうご つげせこが 立さうれ とら鳥乃	おほし	そのごよ
思ひすぐさ		沖	夕月の 玉もく つはそこ

か	おさしむる	おほまれのふ	とらうすし
川	いふむら るゆく	おぼつら	夕月夜 すし漆の
鴨	天とふ	か	
軽	天さむ	かやく	やうふそ
かけ	沖つら 水どりの	霞男	とら山の
か	ふいつら 家つ鳥	甲斐は黒駒	ぬむたま乃 かまらるれ
か	いふむら るゆく	かすが	春日の かすら 真くはふ
らげ	さうらう	掛	玉さすき たくはれ 玉うら 舟そし
		から	さいつら まてさく

加之部

○ことわざのちのちら 於加發語

かここひ	ねえどうろ いそぎひの	かふる	朝とうけ
かゆさかく行	タ星の 玉もるひ	かくる	入目ふす
かまいか	秋田うり	かどま	るのぶらも 大ふひの
かど	焼太刀れ	葛城山	青柳の 玉づつ
かゝる	ゆらどうけ	かぐろさか	ふかのつ
辛荷	いろびつ	かせ山	天のうつくし りうつ
鹿嶋	あまきう	か祢の崎	千とやぶ
かむい	朝けの タけの	かずふらね	しづたま らひらら
かつし	ふらどうけ	鎌	はらうこる
あつ	月人の 青柳の 玉づつ	かくさふ浪	ねまの藻の

かもけ社	千早が 水どうけ 沖つどう	かびやう下	朝がす
かここ	若くやま とふふえの	神	霊幸ふ 千早振
かこび山	うまざけ とむら乃	から	やくのやま りうけ
からまる	とふやめ	かつ	花づめ
かまふ人	冬くさ	か免	千代ふぶ
かまふ	月草の 秋け田の たび衣 るひ衣 ゆくづの まなま	か一す	春の田と たびらも 衣手
かすく			
かつぬ			
君	さす竹の さふづら	き某	麻裳 かこも まうり衣

○ことばのちつらち

加後發語

下三十六

きく だけけりききき
おとよみ

きく 真十鏡
おとよみ宿むぐさ

吉備 まがのふく
おとよみ山ついでせこ

きゆ ほめしめ月草の
おとよみとけども乃
あゆさ乃朝しめ

杵築 八百米
八百丹

久之部

くろし ぬむたま
おとよみ

くだと 早さ
おとよみ

久米 ちりし
おとよみ

くだら こころ
おとよみ

くろす ちりし
おとよみ
打あひく
真草向

くろ 玉のと
おとよみ
ひあさがる
おとよみ

くゆる 岩ざし乃
おとよみ
あゆさ乃
おとよみ

黒うと 打あひく
おとよみ
あゆさ乃
おとよみ

くろし いうら
おとよみ
あゆさ乃
おとよみ

祁之部

けぬ ほめしめ月草の
おとよみとけども乃
あゆさ乃

古之部

こやる つく弓
おとよみ
あゆさ乃

此うし山 ちりしの
おとよみ
あゆさ乃

〇ことばのちりし
久祁古發語
下三十七

あろ	むきあけ 肝むふ 打おびく	衣	しんごの あつたの
ふくもむ	玉祥の ふく子おれ	みー	真玉つく しおざりる
ころもうん	つきも子よ	心もーぬよ	夕月夜 うらぶもれ
あろもゆ	かざろひれ	心いさふ	くもおおす
こりりぞ	内ゆふの このぐさう	子ら	真玉おれ
久我は	まろまろは	こりり浦	むろまろは
こる	こやま木れ	みづる	うき舟の うら舟の
こハ		こふれ原	うらうまは
金銀	目うぐやく		

佐之部

相模	さねざー	さくら浪	しんごゆふ
さくら	花ぐさー	さぬる	さのう
さうゆ	木綿花の とくをるん	はまふ	春とうりは
さうらね小野	天おる	佐保	打のむら
讃岐	玉藻よー	薩摩	とや人乃
さざー山	梯立の	坂	とらもる
ささぐ	さなるん らぢむりは	さつさる	谷らふは
さや	大カグーり	さだ	あつたの たぐひは
さあぐ	らうぎぬ乃	はさく	福草の
さくさ	青もる	さだ	畔ひろは

○ことばのちつら

佐志發語

下三十八

さす
はくくぐーいひもれ
夕月夜 朝日子れ

志之部

白眉	青くも	志げこれ小屋	ろしそれ
志び	おふとよ	志ひ	ろき山乃
新羅	たくぶすぬ たくづぬ乃	志賀	ろくろれ
志くふ	秋山の おく子きれ	志れん	ろくろれ
しぬよ	ちすすき	しおぶ	ろくろれ
志げ	春くさお	志づくれ田井	ろくろれ
しほぶ	君とれ	志れ	ろくろれ
志く	いふじろ沖つぬ しぬろすづぬ	しま	ろくろれ

信濃

いすい

志ろ某

たくづぬの
たくひもれ
ろく雪乃

志某

白菅れ
ろくゆき乃
志ろれ

志

おもまろ

しむ

くもおろ

下某

このづの
ろく根よ
下樋山

須之部

すぐ

ゆく舟の

駿河

ろくろ

末

ろくろ

ろくろ

ろろ

ろくろ

ろくろ

ろろ

ろくろ

ろく

ろくろ

曾之部

○ことぶのちつち

須曾多發語

袖	白くは	白くは
ろこ	かこいひ	折竹の 山すげ
染	浅い 染ゆ	つごよ
そ	ひさう	
多之部		
たぶ	くげ	あま
たて	らげ	あま
たび	草ま	く
た某	く	く
高師濱	大伴の	たゆい
		た浦
		た山
		た某
		たふ
		田上山
		たゆい
		た浦

たつ	お	お
たゆ	玉	玉
垂水	いと	たむ
玉ま	大	た
たひ	か	立
た	さら	た
た	天	た
竹	打	た
田	雨	た
た	ら	辰
		市

〇この本のちうりち 知都發話 下四十

たろかき すいごあは たはむ 大舟乃

瀧 岩こしる
たまごりの

知之部

千足國 くそー矛 千重 おさうのろこ
あつくも乃

千ひろ たくふそ乃 父 ちひこ乃

都之部

つま 若くさは はし はし
はうのこ

月 ひつたまの
天よまの
ゆくくげ乃
久うさ乃 津守 大舟の

つぐ つぐは木の
まのうさ
まのうさ 津守 大舟の

はがけ間 かろくさ乃 つうい 玉章は

つやや まろつとく 筑紫 まのぬのの
馬乃はめ

はる地 まはろと つ糸 はつとつ乃
うつまの

つく 八百丹 はくま はくま
はくま

角鹿 百傳ふ 筑波 まひまろ
ついのすむ

つら はろくさ乃 つもる とつとつ乃

天之日部

手小まく 玉くしろ 丁る月 真十うさ
はろくさ乃

登之部

とを ささき竹の
あゆまの と はろくさ乃

とみ まはろとつ 遠某 くまのあ
風のあ

とぎし心	真十心 つぎし心	とろし池	つぎし池
と某	やさ太刀お	とまる	ゆく水お
と糸里	さす竹の	とよ	しんたの
鳥羽	わくぎん 山しるの	とよし	わら田鶴お
常葉	常磐るん	時よふく	行むつり
とけば	朝こりり	とよ	いんたて
とらま	やれうまの		
奈之部			
中	三枝の 三枝の	ふせ	とむふ
難波	おしとるや うしとる	奈良	青丹し

名張	おら藻の	ふびく	玉藻るん 沖つ藻の
ふがる	ふとづみ	名	つぎたち あつその
ふがし	とらと 天地と	ふさめ	とらと 糸の
繩とらつひ	馬しもの	ふさく山	とらと 乃
名高	むらお	ふさ川	とらと 手お
ふく	とらと の	ふさ	とらと の
ふる	あし の	ふさ心	つぎ たち
ふるといふ	大し の	ふさぬ	とらと 夜の
長尾崎	うく田の		

爾之部

〇ことづのちつち

爾奴種能發語

小ぢふ つば花 山ぎの
ふこやう ふこよぐさ

小し さくらざき

奴之部

布 らゝの
幣 たむけ草

野嶋 らゝの
ぬて とづま

野 とづま

禰之部

禰よふく あゝら
禰もごろ すのけ根の

禰ふ むら
禰て某 ねむねの

能之部

後もらふ ゆゑの水
ねどまび ぬえどり

ねま 船の
ねどつろ山 ひも

波之部

とふ ま
と一けくま ぬふ

とやぶさ 高ゆくや
播磨 ま

春 冬ごり
かす

と某 大のつ
母 た

とふ 墨ふ
濱 い

泊瀬 こりくは
とつ 船の

とや とやの
とく 大ロ

○ことばのちつち 波比發語
下四十三

とろり時ふー秋ぎうけ

比之部

ひさく とうつら

ひむー ちのむの

日 天ーるや たつひる 天つふら ちのむの
天さがる あつ引 かぎろひり

ひき 白さ乃 うつら 人 うつら
あつら 白さ乃

ひく ちのむの 人言 ひごさうふせ
あつら

日笠お浦 ちのむの 人言 かぎろひり

ひるはぬく いたつら 人言 あつら
あつら

ひとり子 かごのもの 一夜 あつら
あつら

ひも 白さ乃

ひも ちのむの

廣田 ちのむの

日の宮 ちのむの

太子 つら

ひくてら 大幣の

ひも夕ぐま ちのむの

平野 千早ぶる

久ー 濱杉 ちのむの

ひろくま川 さつら

布之部

ふる いさ乃

藤 あつら

ふー 真木柱

ふく ちのむの

ふす いめ乃

二年 玉くーげ 真十

ふさ上山 かさ乃 玉くーげ

ふさ並ぬ ちのむの

○ことばのちのむ

布幣保麻發語

ふりぬる里 うらぬるの

ふりぬる うらぬるの

幣之部

平群は山 たぐもこも
八重がこも

へごて たぐもこも
たぐもこも

保之部

秀真國 磯輪上

ほろ ほろぎりの
ほろぎりの

ほよ某 ほよすさ
こぐ船の

麻之部

ふう ふうの

邊 奥津藻の
大船乃

へつふ 焼大刀乃

かわ わー垣の

ほよ ほよすさ
花すさ

真進國 内木綿の

まどふ 朝ごりの

枕 しとたの

まど まどぎりの

まじら 石とりの

まよび ととの

まきふ くもり夜の

まつのは浦 あつて手の

ま 遠つ人
こねん

ま まの
まの

ま 藤るの

ます ゆく水の
まの

真野 あすの
小菅

まど まどぎりの

まつら山 ふるころの

ま 朝日さす

ま 若く
石つねの

ま 玉く
妹がそで

真神 大口の

ま まの
まの

〇こののちつちつら 美發語

美之部

實

いらまゝ
山すげれ 玉うぐ

三重

らまゝぬる

まづれ

すけ根のらまゝ
山すげの玉のをの朝
あまの春まふの
かまの
あまの大雪の

水ふるく

うま酒
らまゝの

三輪

うま酒

まら

玉がこの

三津

大まの
うまの
ままの

まつ

もら月の

こぬ

ゆづるの

三穂

風早の

三笠山

高まの
らまの
君まの

御室山

玉くげ
うまがけ
神まの

道ふす

いぬもの

宮

内日ま

足そめ崎

いぬが目と

美濃

りま

足えぎ

ふくまの

まけ

朝まの

まふ事

うまの

水淵

まけま

まら

玉のま

まの

まの

御子

つま

まず

たまの

まぬえ

玉ま

武之部

向津

天ま

ま

ま

胸

沖ま

ま

山ま
朝ま
真ま

ま

ま

ま

天ま

ま

ま

武庫

玉ま

ま

ま

ま

ま

○ここまのちま

武賣毛夜發語

下四十六

むきぶ
らむの

賣之部

め
ぬえくこの春草の
花がむらむら

毛之部

もゆる
ふだの糸乃
さつぐいの 若くさ乃

もろー
水沫ふれ
もろぢ

本
梓弓
りとうい
もろづ

もろとも
りろくろ
もる

夜之部

やど
むらむら
山城
つぎ糸ふ

八十某
りりぬ めのふ
りづみ らつみの
そらろ ちんちん
日のゆら ぎんて

大和
つまごめ
やこ
ぬむ玉の

や某
まらまの さぐぐ
朝がす 春がす
天ぐも乃 朝さ乃

八重某
山すげの
やまひ
草づて

やまが
さむら
やまひ
草づて

やつと
かく山の
あー引の
山
あー引の
をらうの

由之部

夕
野羽玉の さとどめ
ゆし月夜 うさうい
ゆふ某
いもがき
いもがひも

行某
雪トもの ふる雪の
さくさくの 天ぐもれ
こりりづ乃 早川の

ゆま
さゆらごの
弓
さつ人ね

猪名野 いのな

惠之部

あき栄也 朝日の

袁之部

まことの王 うつそと

まらうら 打らさき

まらうら まらふの

まらうら まらまの

まらうら まらまの

まらうら まらまの

めで めで

あざね市 あざね

を某 まことの 真玉つぐ

をとも 玉もろ

を小ひ田山 まらま

麻生 佐倉麻の

もの らー引の 高砂の

まらうら山 夕月夜

まら 水ぐさ

小野 らら

浪華 多豆室塾藏

弘化二巳年
十月獲免

三都書肆

江戸日本橋通壹丁目

須原屋茂兵衛

同芝神明前

岡田屋嘉七

京都富小路三条上

榊屋勘兵衛

大阪天神橋通平野町

志保山芳兵衛

同心斎橋通唐物町

河内屋太助

同心斎橋通博勞町角

河内屋茂兵衛

